

# みずほ豪ドル債券ファンド

## <愛称：コアラの森>

追加型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年10月21日～2022年4月20日

第216期	決算日：2021年11月22日	
第217期	決算日：2021年12月20日	
第218期	決算日：2022年1月20日	
第219期	決算日：2022年2月21日	
第220期	決算日：2022年3月22日	
第221期	決算日：2022年4月20日	
第221期末 (2022年4月20日)	基準価額	5,635円
	純資産総額	53,606百万円
第216期～ 第221期	騰落率	3.4%
	分配金合計	30円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

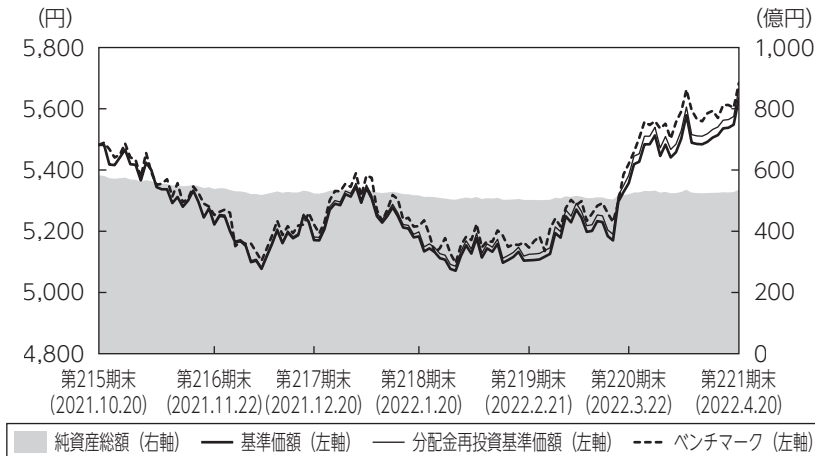
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第216期首： 5,482円  
 第221期末： 5,635円  
 (既払分配金30円)  
 騰落率： 3.4%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク(ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(為替ノーヘッジ・円換算ベース))は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

### 基準価額の主な変動要因

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、オーストラリアの公社債に投資を行った結果、豪ドルが対円で上昇したことなどから基準価額(税引前分配金再投資ベース)は上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第216期～第221期		項目の概要
	(2021年10月21日 ～2022年4月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.681%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,270円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(18)	(0.335)	
(販売会社)	(17)	(0.320)	
(受託会社)	( 1)	(0.027)	
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	( 0)	(0.002)	
(c) その他費用	1	0.017	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 1)	(0.016)	
(監査費用)	( 0)	(0.001)	
(その他)	( 0)	(0.000)	
合計	37	0.700	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

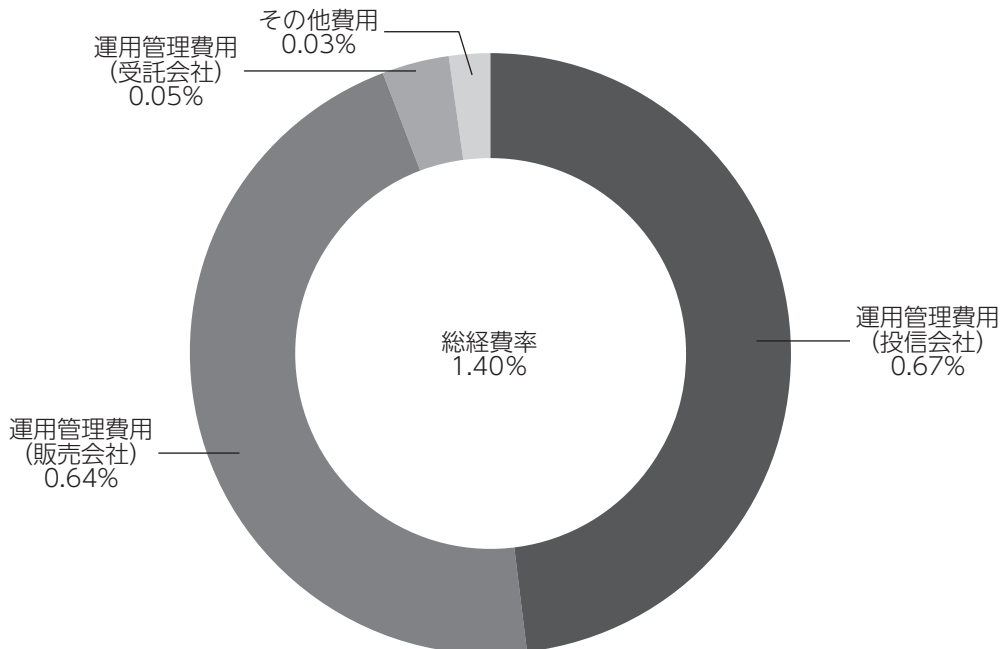
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



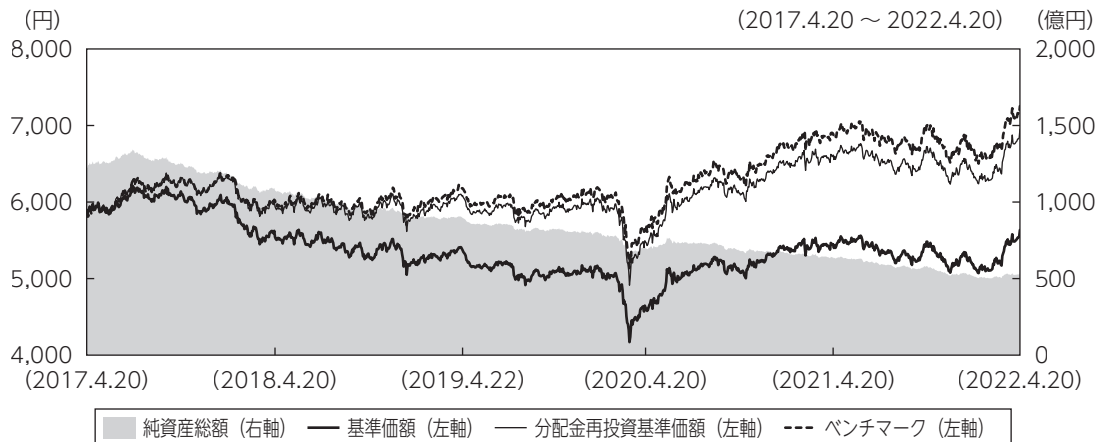
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



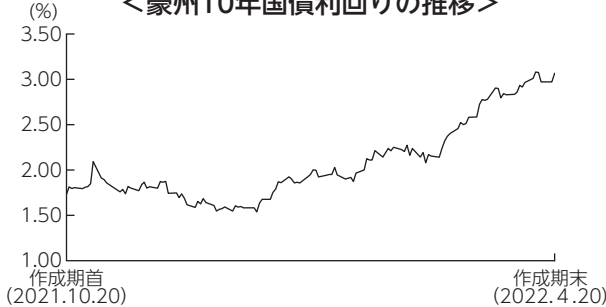
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース））は、2017年4月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年4月20日 期首	2018年4月20日 決算日	2019年4月22日 決算日	2020年4月20日 決算日	2021年4月20日 決算日	2022年4月20日 決算日
基準価額（分配落）	(円) 5,813	5,544	5,371	4,618	5,449	5,635
期間分配金合計（税引前）	(円) -	410	300	230	120	85
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) -	2.2	2.4	△10.0	20.8	5.1
ベンチマークの騰落率	(%) -	3.5	2.7	△8.4	21.7	5.3
純資産総額	(百万円) 121,860	107,611	89,677	69,781	63,807	53,606

(注) ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております（以下同じ）。

## 投資環境

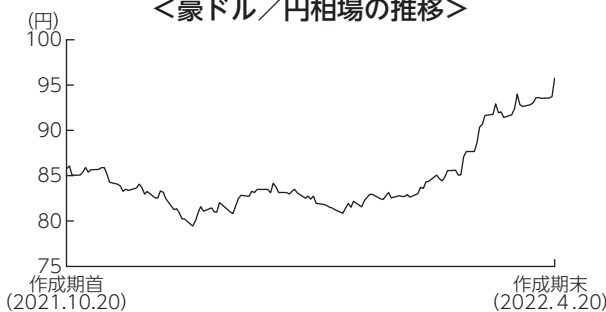
<豪州10年国債利回りの推移>



(注) 値は前営業日のものを用いております。

豪州10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。作成期初から2021年12月下旬にかけては、豪州国内でオミクロン株による感染拡大が懸念されたことなどから利回りは低下しました。その後は、良好な同国雇用統計を受けRBA（豪州準備銀行）による利上げ観測が高まったことなどから上昇しました。作成期末にかけては、米金融政策の早期正常化観測が高まったことなどを背景に米国金利の上昇の動きにつれて上昇し、作成期を通じては上昇しました。国債との利回り格差（信用スプレッド）は拡大しました。

<豪ドル／円相場の推移>



豪ドルは対円で上昇しました。作成期初から2022年1月下旬にかけては、豪州国内でオミクロン株による感染拡大が懸念されたことなどから下落しました。その後作成期末にかけては、堅調な豪雇用統計や資源価格の上昇に加え、米国金利上昇の動きにつれて豪州国債利回りも上昇したことなどから上昇し、作成期を通じては上昇しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

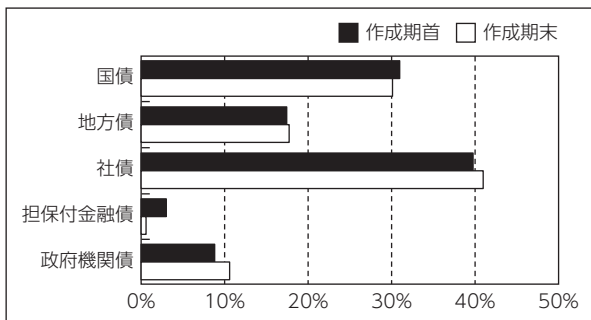
「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお、組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

### ●MHAM豪ドル債券マザーファンド

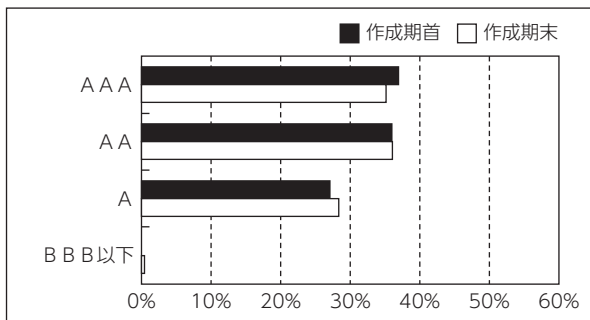
主に豪ドル建ての社債、国債、地方債などに投資を行い、組入比率については高位を維持しました。種別では、政府機関債の組入比率を引き上げた一方で、担保付金融債の組入比率を引き下げました。格付別では、A格の組入比率を引き上げた一方、A A A格の組入比率を引き下げました。修正デュレーションについては、作成期末はベンチマーク比長めとしました。上記の通り運用を行った結果、豪ドルが対円で上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

作成期首：2021年10月20日 作成期末：2022年4月20日

<種別保有比率>



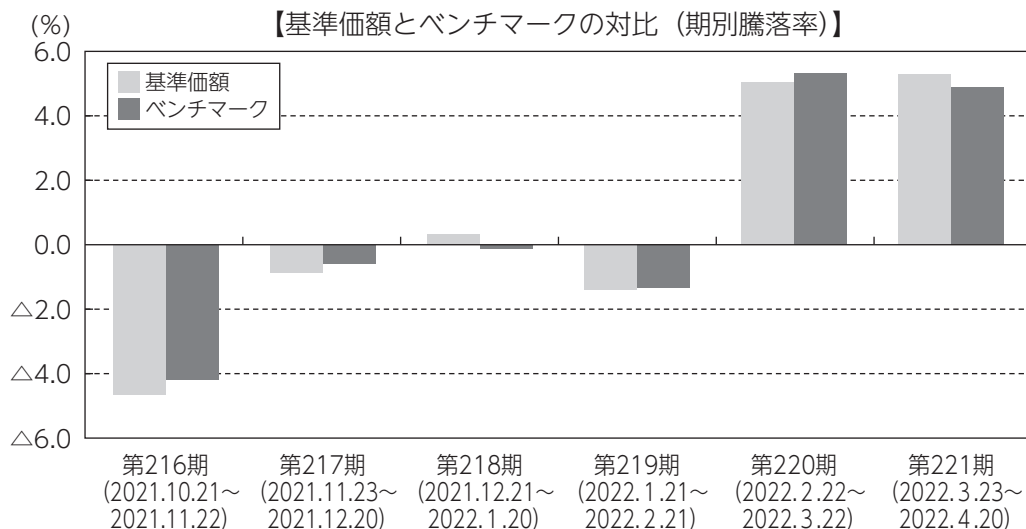
<格付別保有比率>



(注) 保有比率についてはMHAM豪ドル債券マザーファンドの債券部分に対する評価額の割合です。  
格付けはS & P、Moody'sのうち、高い方の格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠)

## ベンチマークとの差異について

ベンチマークであるブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）は、3.7%上昇しました。当ファンドは、ベンチマークを0.3%下回りました。保有債券の利息収入などがプラスに寄与しましたが、信託報酬などのマイナス要因を上回ることが出来ませんでした。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。



## 分配金

当作成期の収益分配金は、利息収入相当分を中心とし、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第216期	第217期	第218期	第219期	第220期	第221期
	2021年10月21日 ~2021年11月22日	2021年11月23日 ~2021年12月20日	2021年12月21日 ~2022年1月20日	2022年1月21日 ~2022年2月21日	2022年2月22日 ~2022年3月22日	2022年3月23日 ~2022年4月20日
当期分配金（税引前）	5円	5円	5円	5円	5円	5円
対基準価額比率	0.10%	0.10%	0.10%	0.10%	0.09%	0.09%
当期の収益	5円	4円	5円	4円	5円	5円
当期の収益以外	-円	0円	-円	0円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	96円	95円	98円	98円	102円	108円

(注1)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券の組入れを高位に維持します。

### ●MHAM豪ドル債券マザーファンド

足元では、行動制限緩和を受けた経済指標の改善が見られる一方で、ウクライナ情勢を巡る不透明感や、米金融政策の早期正常化観測が高まっており、短期的には値動きの荒い相場展開になる可能性があります。しかし、資源価格の回復などは豪ドルの支援材料になるとみられます。

主として、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。債券の種別配分については、利回り水準が魅力的な社債の組入れを中心として、割安な銘柄を発掘していく方針です。

## お知らせ

■当ファンドが投資対象とする「MHAM豪ドル債券マザーファンド」において、円の余資運用以外の運用の指図に関する権限の委託先を「AMP キャピタル・インベスターズ・リミテッド」から「マッコリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッド」に変更するため、所要の約款変更を行いました。

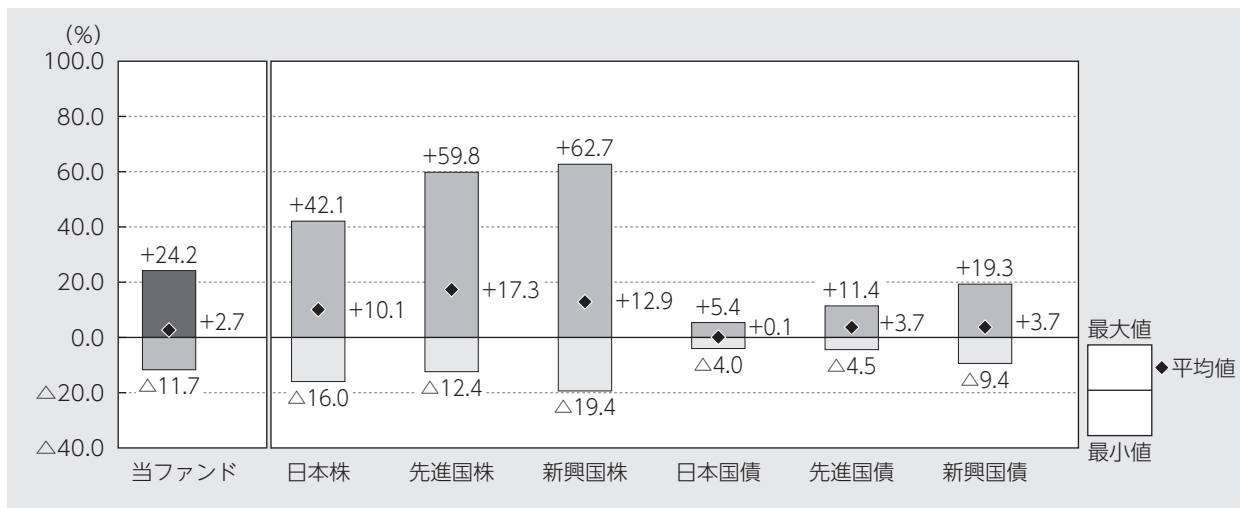
当該変更は、AMPグループ・ホールディングス・リミテッドが事業再編により上記ファンドを所管する部門をマッコリー・アセットマネジメント・ホールディングス・ピーティーワイ・リミテッドに売却したことに伴うものです。なお、当該変更により、運用方針や運用方法が変更されるものではありません。

(2022年3月29日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2003年10月30日から無期限です。	
運用方針	主として、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	みずほ豪ドル債券 ファンド	MHAM豪ドル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MHAM豪ドル債券 マザーファンド	オーストラリアの信用力の高い公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>公社債の組入比率は高位を保つことを基本とし、主に豪ドル建ての国債、州政府債、事業債などに投資します。投資対象は、取得時においてA-（A3）格相当以上の格付けを得ている公社債とするとともに、ファンド全体の加重平均格付けをAA-（Aa3）格相当以上とすることを基本とします。</p> <p>ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）をベンチマークとして、中・長期的にベンチマークを上回る運用成果を目指します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>MHAM豪ドル債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに委託します。</p>	
分配方針	<p>毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利息収入相当分を中心とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>なお、売買益については、原則として毎年5月および11月の決算時に委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案したうえで、分配することを目指します。ただし、分配対象額が少額の場合ならびに委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案したうえで、分配を見送る場合があります。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年4月～2022年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

## \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2022年4月20日現在）

#### ◆組入ファンド等

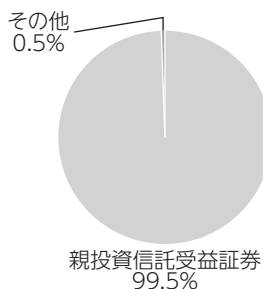
（組入ファンド数：1ファンド）

	第221期末
	2022年4月20日
MHAM豪ドル債券マザーファンド	99.5%
その他	0.5

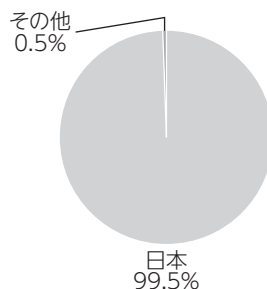
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

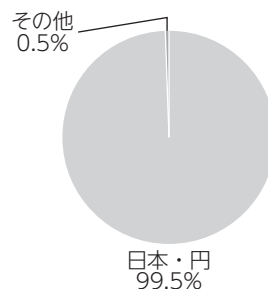
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

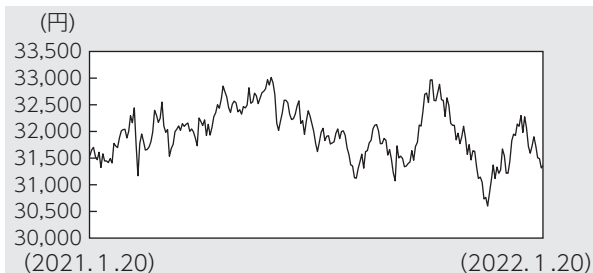
項目	第216期末	第217期末	第218期末	第219期末	第220期末	第221期末
	2021年11月22日	2021年12月20日	2022年1月20日	2022年2月21日	2022年3月22日	2022年4月20日
純資産総額	53,800,004,744円	52,327,498,192円	51,716,335,629円	50,220,721,484円	52,093,789,607円	53,606,404,027円
受益権総口数	103,018,375,322口	101,200,679,435口	99,771,607,103口	98,368,722,513口	97,244,240,128口	95,134,892,977口
1万口当たり基準価額	5,222円	5,171円	5,183円	5,105円	5,357円	5,635円

（注）当作成期間（第216期～第221期）中における追加設定元本額は251,875,024円、同解約元本額は11,336,254,976円です。

## 組入ファンドの概要

【MHAM豪ドル債券マザーファンド】（計算期間 2021年1月21日～2022年1月20日）

### ◆基準価額の推移

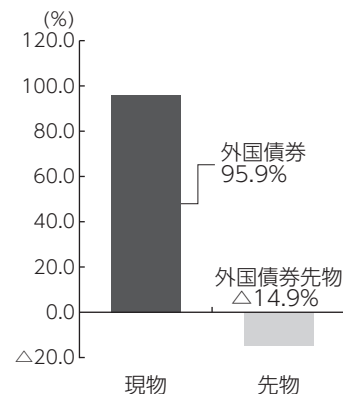


### ◆1万口当たりの費用明細

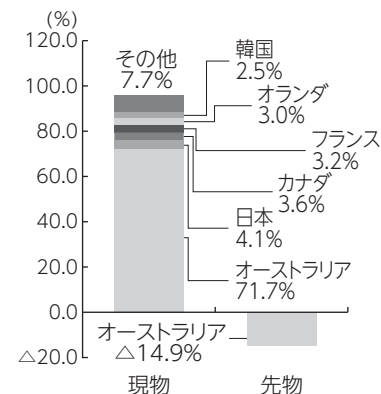
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	2円 ( 2)	0.007% (0.007)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	10 (10) ( 0)	0.032 (0.031) (0.001)
合計	13	0.039

期中の平均基準価額は31,960円です。

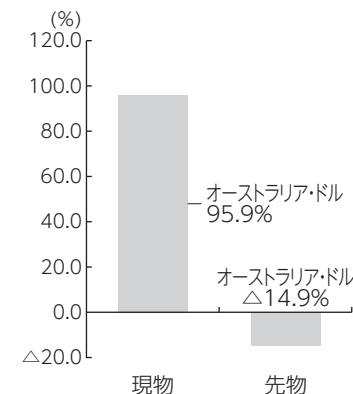
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 国別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分の先物比率は、買建比率－売建比率です。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### ◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN 4.5 04/21/33	オーストラリア・ドル	13.7%
KOREA EXPRESSWAY CORP 0.928 09/02/23	オーストラリア・ドル	2.5
DEUTSCHE BAHN FIN GMBH 3.5 09/27/24	オーストラリア・ドル	2.3
SUMITOMO MITSUI SYD 1.5 06/05/25	オーストラリア・ドル	2.2
TREASURY CORP VICTORIA 1.5 09/10/31	オーストラリア・ドル	2.2
QUEENSLAND TREASURY CORP 1.75 08/21/31	オーストラリア・ドル	2.2
AUSTRALIAN 3.0 03/21/47	オーストラリア・ドル	2.2
GENERAL PROPERTY TRUST 3.591 11/07/23	オーストラリア・ドル	1.9
AUSTRALIAN 3.25 06/21/39	オーストラリア・ドル	1.9
UBS AG AUSTRALIA 1.2 07/30/25	オーストラリア・ドル	1.8
組入銘柄数	96銘柄	

### ◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
AUST 3YR BOND FUT	売建	8.9%
AUST 10Y BOND FUT	売建	6.0%
組入銘柄数	2銘柄	

## <当ファンドのベンチマークについて>

### ●ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）

「ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス [正式名称：Bloomberg AusBond Composite Index] とは、オーストラリアで最も一般的な債券指数の1つで、国債・州政府債・事業債等を含む、固定利付債券を対象とした指数です。なお、当ファンドがベンチマークとする「為替ノーヘッジ・円換算ベース」とは、委託会社が同インデックスを円ベースに換算したものです。

※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）は、アセットマネジメントOne(株)の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、アセットマネジメントOne(株)に対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

